

News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和元年 5 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このため令和元年 5 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和元年 5 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【建設業における季節需要の高まり等による好転が全体の業況 DI を押し上げ】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-5.4（前月-8.1、前年同月-5.2）で、前月比 2.7pt 好転した。主に建設業において、夏場に向けた内外装工事の受注が増えたことや、地域は限られるものの、消費増税前の駆け込み需要と考えられる受注が増えたことから全体の景況感を押し上げた。

【製造業】

業況は-7.8（前月-3.9、前年同月 1.0）と前月に比べ 3.9pt 悪化した。市場が淘汰されてきている繊維工業では受注が好調であったが、それ以外の分野では大型連休による受注減少や原材料価格の高騰等、採算が取りづらい状況であった。

【建設業】

業況は 14.7（前月-2.9、前年同月 8.8）と前月に比べ 17.6pt 好転した。地域によっては、消費増税前の駆け込み需要と考えられる受注が増えたことに加え、季節的な受注も相まって大きく業況が改善された。一方で、大型連休により工期の調整が難しく、人手不足に悩む建設業界において、人繰り等を更に悩ませる状況となった。

【小売業】

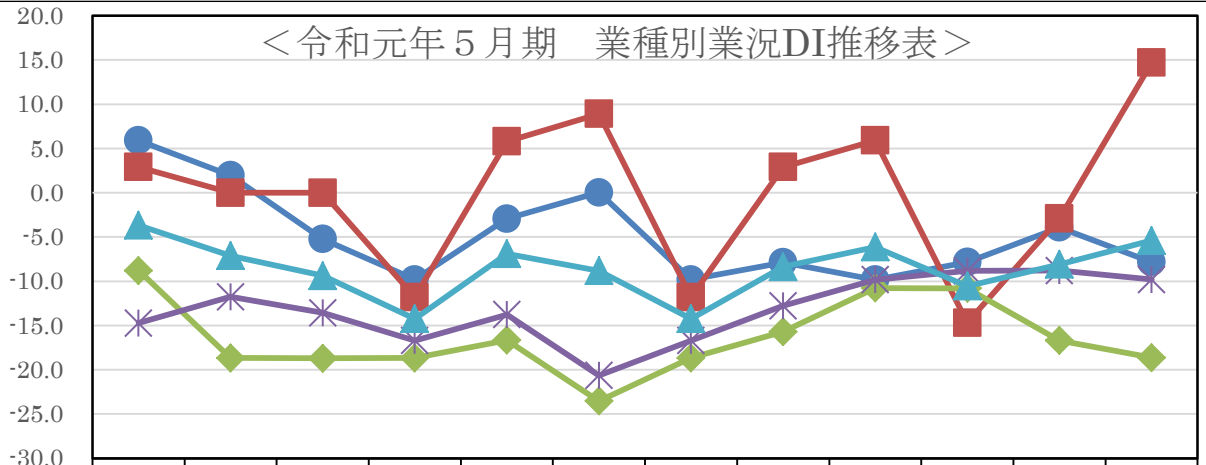
業況は-18.6（前月-16.7、前年同月-16.7）と前月に比べ 1.9pt 悪化した。大型連休による小売への効果は限定的であり、一方で食料品を中心に、原材料価格の高騰、輸送費の上昇等の影響から採算がとりづらい状況となった。

【サービス業】

業況は-9.8（前月-8.8、前年同月-13.8）と前月に比べ 1.0pt 悪化した。大型連休中は宿泊業を中心に地域を問わず、利用が旺盛だった反面、連休後の宿泊客数の減少等から結果的に業況が大きく改善するには至らなかった。一方で、洗濯業については、気温の上昇とともに冬物衣類のクリーニング需要が高まり、売上も増加した。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：高野・中村〕

＜令和元年5月期 業種別業況DI推移表＞



	H30.6	H30.7	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3	H31.4	R1.5
● DI値（製造業）	5.9	2.0	-5.2	-9.8	-2.9	0.0	-9.8	-7.9	-9.8	-7.8	-3.9	-7.8
■ DI値（建設業）	2.9	0.0	0.0	-11.8	5.8	8.9	-11.8	2.9	5.9	-14.7	-2.9	14.7
◆ DI値（小売業）	-8.8	-18.7	-18.7	-18.7	-16.7	-23.5	-18.7	-15.7	-10.8	-10.8	-16.7	-18.6
✳ DI値（サービス業）	-14.7	-11.8	-13.6	-16.7	-13.8	-20.6	-16.7	-12.8	-9.8	-8.8	-8.8	-9.8
▲ DI値（全業種平均）	-3.7	-7.1	-9.4	-14.2	-6.9	-8.8	-14.2	-8.4	-6.1	-10.5	-8.1	-5.4

＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・遅霜の影響からお茶の収穫量が大幅に減少した。(伊豆)
- ・機械関係では、消耗工具の価格が約2割上昇しており、利益を圧迫している。(富士駿東)
- ・桜えびの春漁について、記録的な不良であった昨年を更に下回る漁獲量となり、原料が確保できない深刻な状況である。また、食料品以外の製造業についても、大型連休の影響から業績は軒並み低下している。(中部)
- ・自動車関連は、大型連休後の対応で忙しい状況にあるほか、繊維工業においても同業者の減少に伴い、残された企業への受注が集中している。(中東遠)
- ・繊維工業において、同業者の廃業が続き、受注は増えているが、同時に手間も増え、利益確保には繋がっていない状況にある。(西遠)

【建設業】

- ・資材の調達価格が上昇する一方、夏場に向け、窓等の内装工事、屋根の塗装工事等が増加傾向にある(伊豆)
- ・ららぽーと沼津の外観工事がほぼ完了し、周辺事業者への特需は減りつつある。(富士駿東)
- ・大型連休に伴い、工事の調整が難しいとの声が聞かれた。(中部)
- ・消費増税前の駆け込み需要の発生状況が地域によって異なり、需要が旺盛な地域については人手不足の影響もあり、とても忙しい状況であった。(中東遠)
- ・受注自体は活発だが、小規模な工事、短納期の工事が多く、作業効率が悪い。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

- ・衣料品については、同業者の廃業により、残された店舗は販売が好調である。(伊豆)
- ・食料品については、原材料の高騰、輸送費の上昇、人手不足等の影響から、仕入価格が高止まりとなっており、採算がとりづらい。(富士駿東)
- ・大型連休があつたにも関わらず、小売に関しては例年並みで推移した。(中部)
- ・浜松まつりの影響から鮮魚の販売が好調であったが、普段より水揚げ量が少ない中、まつりに関係のない店舗にとっては原材料価格の高騰により採算が悪化した。(中東遠)
- ・浜名湖の潮干狩り中止に伴い、県外からの入込客が少なく、食料品等の売上不振を招いた。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・大型連休中の宿泊利用は好調であったが、その後の反動減も招いた。(伊豆)
- ・4月が寒かった分、5月に入り、冬物のクリーニング需要が増加した。(富士駿東)
- ・大型連休中は宿泊、飲食店等が好調であった。(中部)
- ・4月後半から冬物衣類、5月からは寝具関係のクリーニング需要が増えた。(中東遠)
- ・大型連休中は、天気が良好であったこと、スマートインターによるアクセス性が向上した

ことから観光客も多く、宿泊関係を中心に好調であった。(西遠)

小規模企業景気動向調査 (令和元年5月末)

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-11.7	-5.9	悪化
売上	-17.7	0.1	減少
仕入単価	17.7	14.7	上昇
採算	-41.2	-14.7	悪化
資金繰り	-20.5	-5.9	悪化

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-5.9	-8.8	好転
売上	-11.8	-8.9	減少
仕入単価	11.8	8.9	上昇
採算	-5.9	-8.8	好転
資金繰り	-5.9	-2.9	悪化

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-5.9	2.9	悪化
売上	-5.8	2.9	減少
仕入単価	26.5	26.5	不変
採算	-11.7	-3.0	悪化
資金繰り	-5.9	-5.9	悪化

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	14.7	-2.9	好転
売上	-2.9	0.0	減少
仕入単価	29.4	23.5	上昇
採算	-5.9	-14.7	好転
資金繰り	-11.8	-20.6	好転

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-26.5	-26.5	不変
売上	-14.7	-23.5	増加
仕入単価	5.9	0.0	上昇
採算	-11.8	-14.7	好転
資金繰り	-17.7	-20.6	好転

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-14.7	-11.8	悪化
売上	2.9	-8.8	増加
仕入単価	14.7	0.0	上昇
採算	-26.5	-23.6	悪化
資金繰り	-17.7	-11.8	悪化

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-14.7	-11.8	悪化
売上	-11.7	-8.8	減少
仕入単価	14.7	17.7	減少
採算	-20.6	-8.9	悪化
資金繰り	-20.6	-14.7	悪化

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-2.9	0.0	悪化
売上	5.9	5.8	増加
仕入単価	14.7	5.9	上昇
採算	-2.9	0.0	悪化
資金繰り	-14.7	-5.9	悪化

9.洗濯業

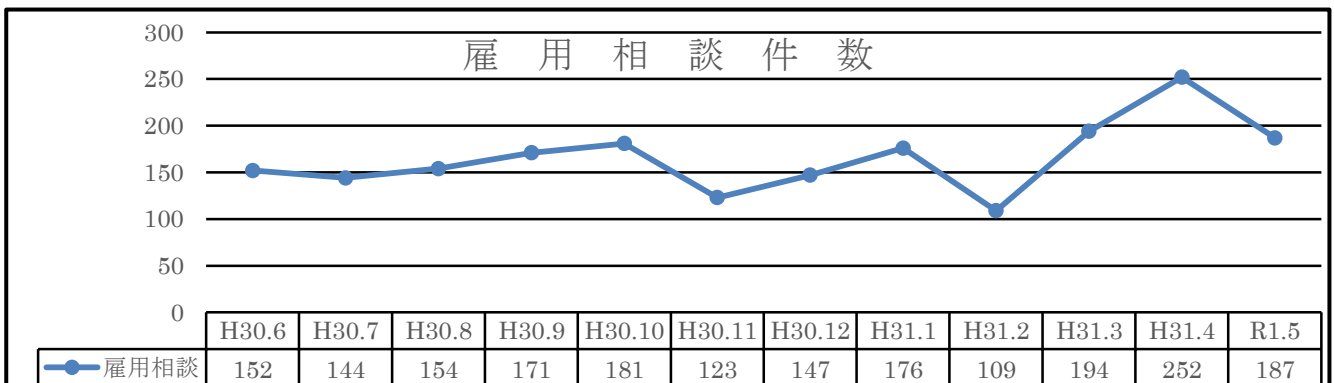
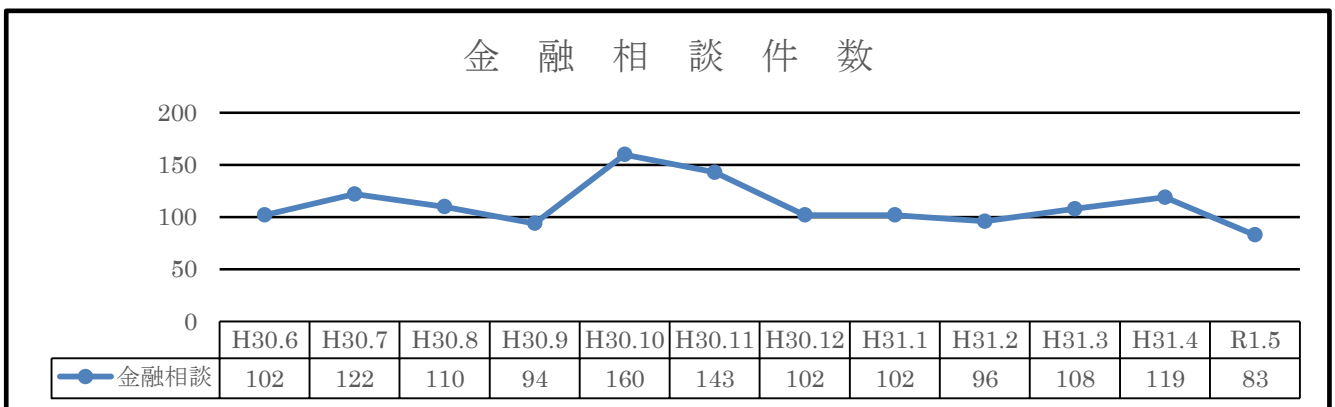
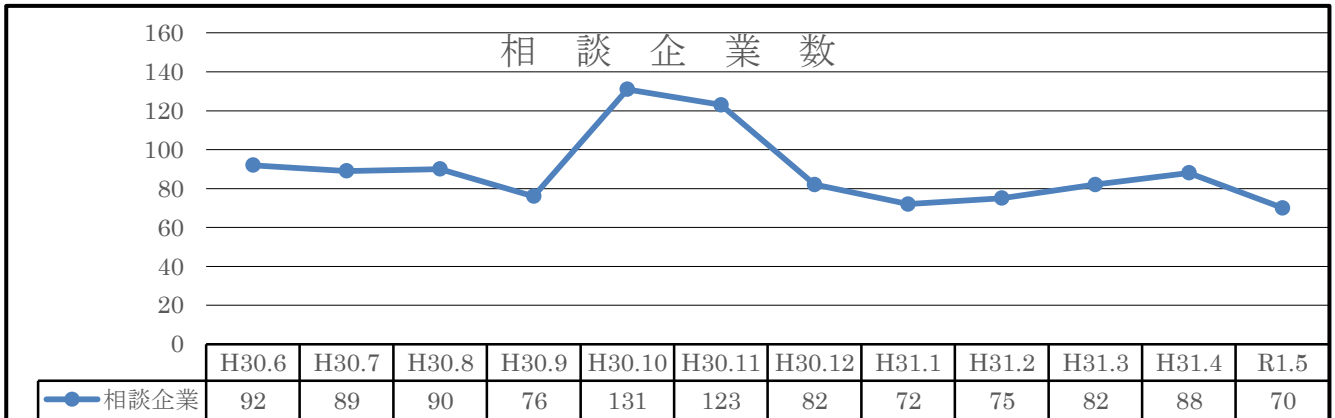
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-14.7	-11.7	悪化
売上	-5.9	-14.7	増加
仕入単価	11.8	14.7	低下
採算	-5.9	-8.8	好転
資金繰り	-5.9	-8.8	好転

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-11.8	-14.7	好転
売上	-11.8	-5.9	減少
仕入単価	14.7	14.7	不変
採算	-8.8	-8.9	好転
資金繰り	0.0	0.0	不変

金融・雇用相談実績月次報告(令和元年5月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	70	88	-18
【金融相談件数】	83	119	-36
新規融資(借換えを除く)	57	79	-22
既存債務の借換え	24	34	-10
借入れ条件変更	1	4	-3
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	1	2	-1
【雇用相談件数】	187	252	-65



【金融相談】

金融相談件数は、83件と前月(119件)に比べ36件減少した。今年10月に迫った消費増税を前に、税率が低い段階で設備導入を行いたい事業所から設備資金の相談が多かった。

<経営指導員コメント>

- ・事務所やトラックの購入等、設備資金に関する相談があった。(伊豆)
- ・社用車、厨房機器等、設備の更新に際する融資相談があった。(富士駿東)
- ・消費増税を見据え、設備投資に関する融資相談があった。(中部)
- ・設備資金に関する相談が中心であったが、創業希望者からは補助金活用時のつなぎ融資についての相談も受けた。(中東遠)
- ・昨年度、商工会創業塾の受講者が創業するにあたり、創業融資の相談があった。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、187件と前月(252件)に比べ65件減少した。相談の内容としては、例月同様、人材確保や働き方改革への対応等が多く、特に人手不足については幅広い業種において深刻な問題となっている。

<経営指導員コメント>

- ・アルバイト従業員への有休付与や従業員の懲戒等、労務関連の相談があった。(伊豆)
- ・高齢者雇用に際し、雇用形態等についての相談を受けた。(富士駿東)
- ・働き方改革への対応として、有休付与等に関する相談があった。(中部)
- ・建設、製造、小売、飲食等、業種を問わず、幅広い業種から人手不足に関する相談があった。(中東遠)
- ・外国人技能実習生や障害者雇用等、人材確保に関する相談が中心であった。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・5/11、12に柿田川公園にて、かわせみマルシェが開催された。(清水町)
- ・毎年5/3に開催されていた由比桜えびまつりが記録的不漁のため中止となった。その代替イベントとして、有志が集まり、地域の名産品を販売する「由比いいもんまつり」が開催された。(静岡市清水)
- ・ゴールデンウィーク中に市内の茶小売店が中心となって行うお茶カフェが開催され、今年も多くの方で賑わった。(御前崎市)
- ・市内スタジアムで開催されたグルメイベントに会員事業所と共に出店し、地元B級グルメを販売した。イベントでは、PayPayの決済にも対応し、来場者の利便性の向上を図った。(浅羽町)
- ・浜松いわた信用金庫主催「第1回創業サミット」に共催として参加した。会場には各地の創業塾参加者や創業予定者も多く集まったほか、信用金庫、商工会・商工会議所、行政が連携する形で「がんばる起業応援ネットワーク」が組織された。(浅羽町)
- ・コワーキング&シェアオフィス事業が本格的にスタートした。(浜北)